

# SARS-CoV-2特異的CTL誘導ワクチンの開発を目的としたCTLと抗原ペプチドの同定

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	SARS-CoV-2特異的CTL誘導ワクチンの開発を目的としたCTLと抗原ペプチドの同定
倫理審査 受付番号	第 倫ヒ 0440号
研究期間	2020年 6月実施許可日～2024年 5月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に本院の輸血・細胞治療センターにおいて、リンパ球採取ないし末梢血幹細胞採取を受けられた患者さんないし健常人移植ドナー様 2013年 1月 1日～2022年 1月31日
研究に用いる 試料・情報	試料等

## 研究概要

### （研究目的、意義）

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防において、世界保健機関は、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する抗体を持つにも関わらず再感染しているケースが存在していることから、ウイルス感染細胞を排除できる免疫細胞の1つであるT細胞が重要ではないかとされています。従って、兵庫医科大学病院において、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)からの回復者末梢血に存在するT細胞を解析することにより、ウイルスを攻撃出来るT細胞を誘導する事が出来るワクチンの開発を目指します。

### （研究の方法）

兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センターにおいて患者様ないし健常人移植ドナー様より診療目的で採取され、凍結保存されているリンパ球および末梢血幹細胞のうち、診療に用いる可能性のない下記の細胞を用います。

- ・細胞の凍結保存後5年を経過しており、細胞の品質面より診療に用いることが不適切である細胞
- ・採取したリンパ球より診療用のCAR-T細胞をすでに作成済みであり、保管を続ける必要のない細胞

これらの保管されている細胞に含まれるT細胞が新型コロナウイルスの持つタンパクに反応するか否かを試験管内にて調べます。反応の有無を、T細胞の表面にあるタンパク質が増加するかどうか、あるいは、T細胞の増殖の有無をもって調べていきます。

### （個人情報の取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 本研究に関する 連絡先

・兵庫医科大学 病原微生物学  
石戸 聡（研究責任者）

TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6548

・兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター  
吉原 哲（研究責任者）

TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6348

